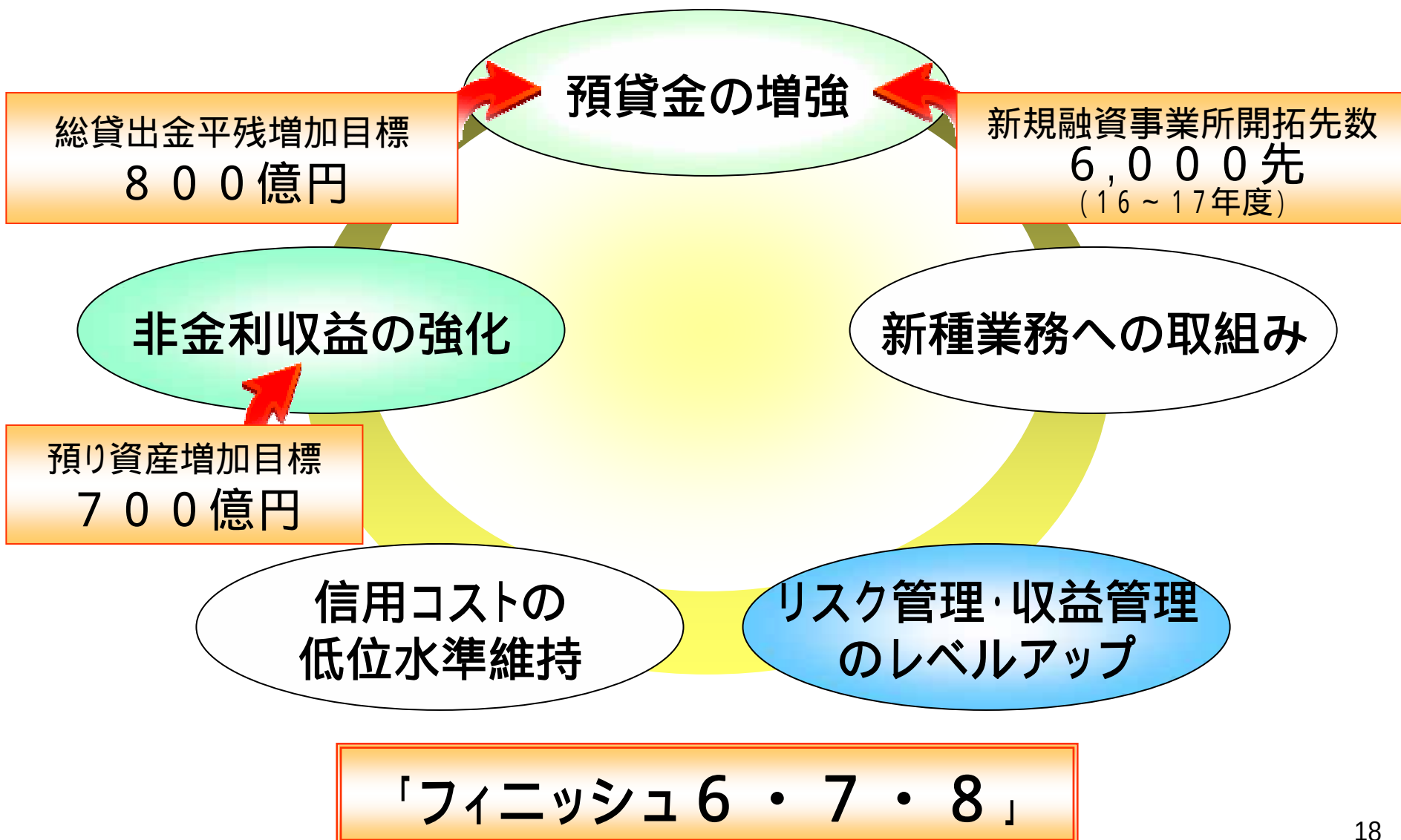




・主な戦略



17年度下期の主な施策

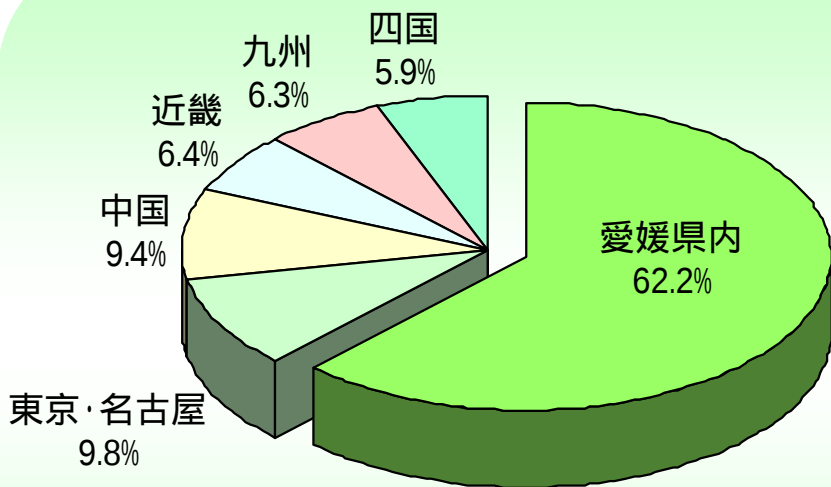


預貸金の増強

～ 融資 < 貸出金地区別構成比率 > ～

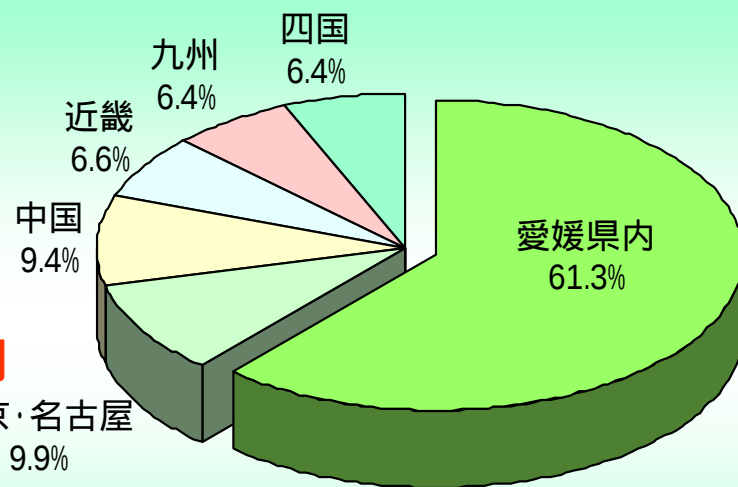
- 営業の広域展開による 安定した運用基盤
- 県内 6 割、県外 4 割で地域偏りによる 与信集中リスクを分散

< 貸出金残高 地域別構成比率 >



16年9月
2兆8,388億円

+ 854億円



17年9月
2兆9,242億円

預貸金の増強

～ 事業性融資 < 「 5,000 先開拓 」 運動 > ～

● 新規融資事業所「5,000先開拓」運動の実績は4,702先、
上方修正し「6,000先」を目指す

< 「5,000先開拓」運動の実績と見込み >

16～17年度で5,000先から上方修正し6,000先開拓

(先数)

6,000

5,000

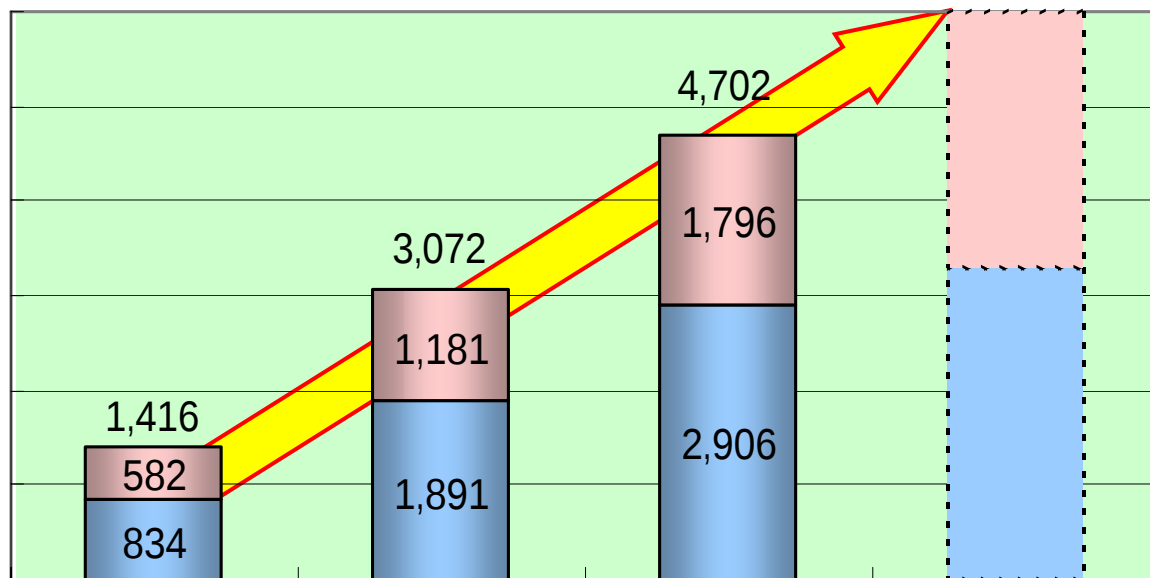
4,000

3,000

2,000

1,000

0



17～18年度で
6,000先開拓

県外
県内

16/4 ~ 16/9

17/3まで

17/9まで

18/3

～ 事業性融資 < 業種別貸出金の動向 > ～

● 海運・造船関連は2年間で155億円増加、
構成比率9.4%、正常先比率98.4%

● 医療関連は2年間で173億円増加、
構成比率4.3%、正常化比率95.9%

- 海運・造船関連、医療関連とも今後も順調な増加を見込む

< 業種別貸出金(業種別審査実施分)の動向 >

～ 地場産業等 ～

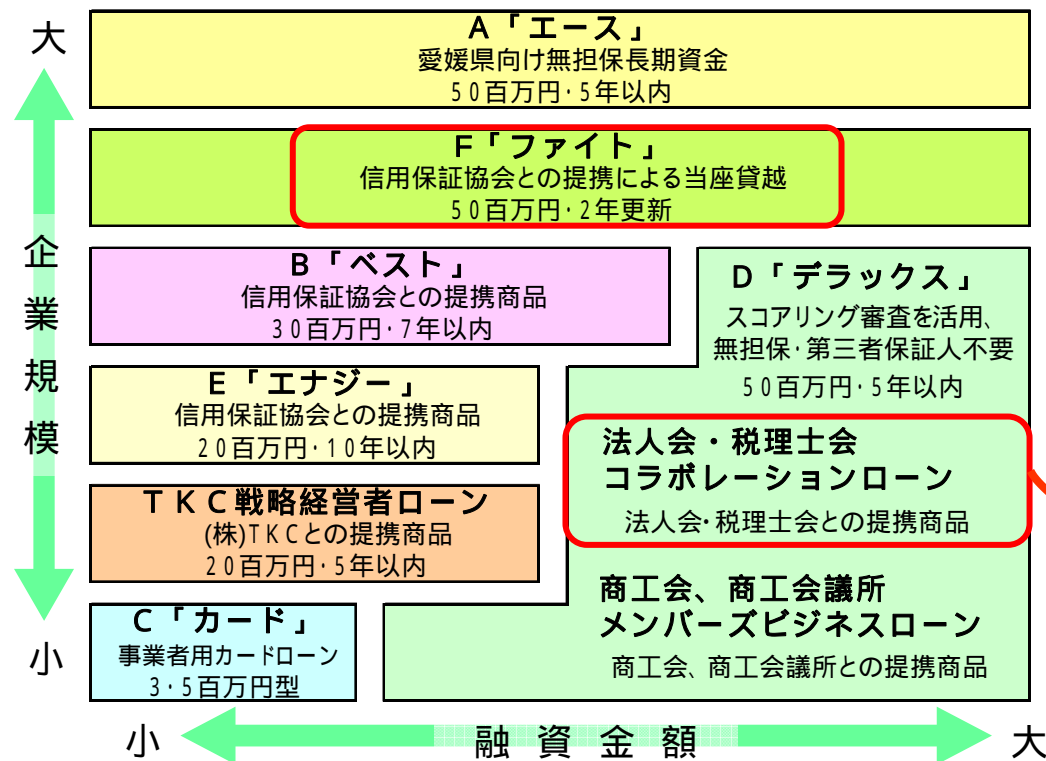
(百万円)

	15/9				16/9				17/9			
	先数	残高	比率	前年比増減率	先数	残高	比率	前年比増減率	先数	残高	比率	前年比増減率
海運・造船関連	470	260,515	9.5%	▲5.7%	457	276,878	9.8%	+6.3%	445	276,038	9.4%	▲0.3%
建設	5,103	186,014	6.8%	▲2.3%	4,970	177,951	6.3%	▲4.3%	5,035	181,765	6.2%	+2.1%
不動産	1,515	140,846	5.1%	▲2.2%	1,505	150,451	5.3%	+6.8%	1,482	154,631	5.3%	+2.8%
医療関連	1,502	109,503	4.0%	+5.7%	1,654	121,893	4.3%	+11.3%	1,666	126,819	4.3%	+4.0%
紙関連	263	61,040	2.2%	▲1.4%	263	59,481	2.1%	▲2.6%	258	60,803	2.1%	+2.2%
タオル関連	293	32,278	1.2%	▲7.1%	283	31,744	1.1%	▲1.7%	266	29,492	1.0%	▲7.1%
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
総貸出金	2,751,696				2,838,864				2,924,269			

預貸金の増強

～ 事業性融資＜ローン商品のラインアップ＞～

**● 新商品「いよぎんビジネスサポートローンF『ファイト』」、
「法人会・税理士会コラボレーションローン」を投入（17年10月～）**



「いよぎんビジネスサポートローン」
17年10月末実績

A「エース」
171件
2,825百万円
B「ベスト」
1,641件
16,884百万円
C「カード」
596件(1,577件)
1,392百万円
D「デラックス」
870件
7,333百万円
E「エナジー」
1,389件
12,076百万円
F「ファイト」
75件
1,657百万円
合計
4,742件
42,167百万円

・スコアリング審査を活用、無担保・第三者保証人不要
・「中小会社会計基準適用に関するチェックリスト」、「税理士法第33条の2
に規定する添付書面」の提出により金利優遇

フリーダイヤル「事業資金相談センター」設置（17年6月）

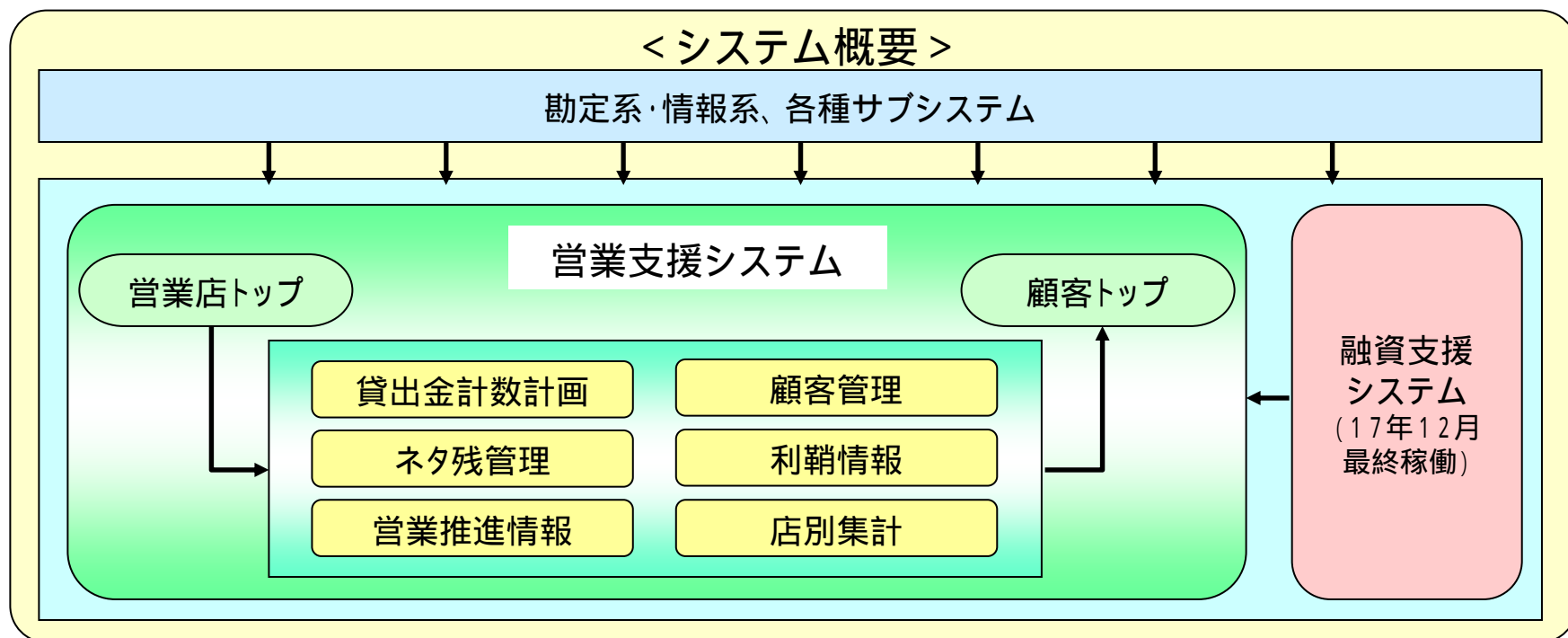
～ 営業支援システム ～

17年11月より稼働

● 各種取引情報を整理・集約し、より有効な営業推進情報の利用を可能とするシステムを構築

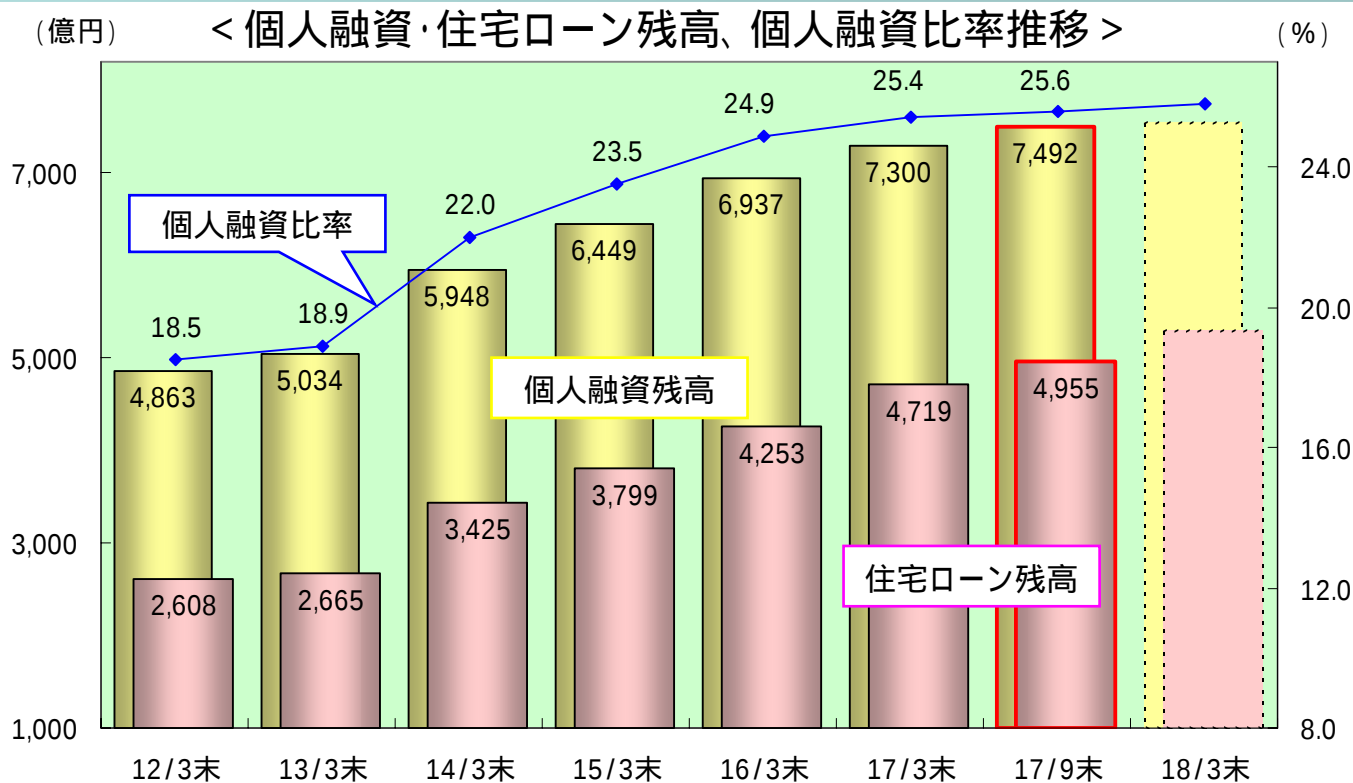
- 各種取引情報の集約化・検索機能の活用による営業活動の側面支援
- 各種管理資料の標準化・システム化、報告物の削減

対面時間・営業機会の拡大によるお取引先数の増加



～ 個人融資 ～

● 住宅ローンが堅調に推移(年間増加率 11.7%)、個人融資残高は7,492億円、個人融資比率は25.6%、今期も住宅ローン2桁増加を見込む



住宅ローン

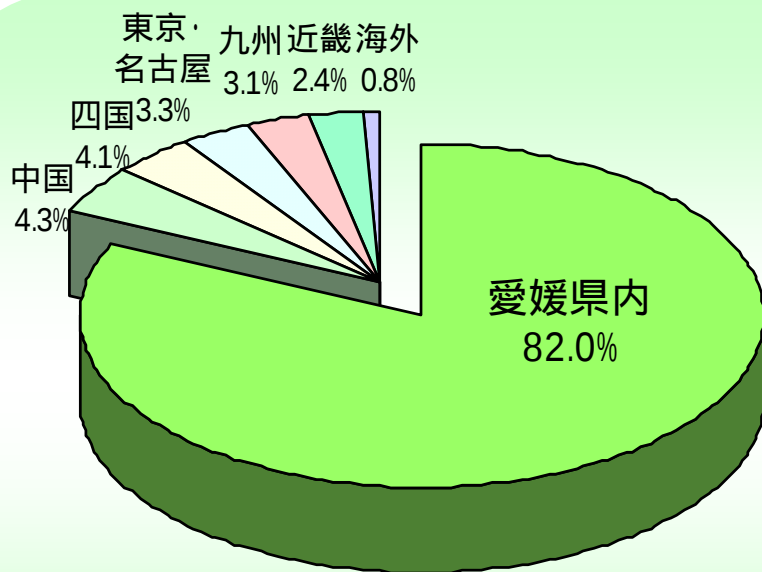
新築案件を中心に順調に増加

- 「ローンプラザ」愛媛県内7か所で営業
- 事前審査申込制度、翌日回答のスピード対応による案件持込増強

～ 預金 < 預金地区別構成比率 > ～

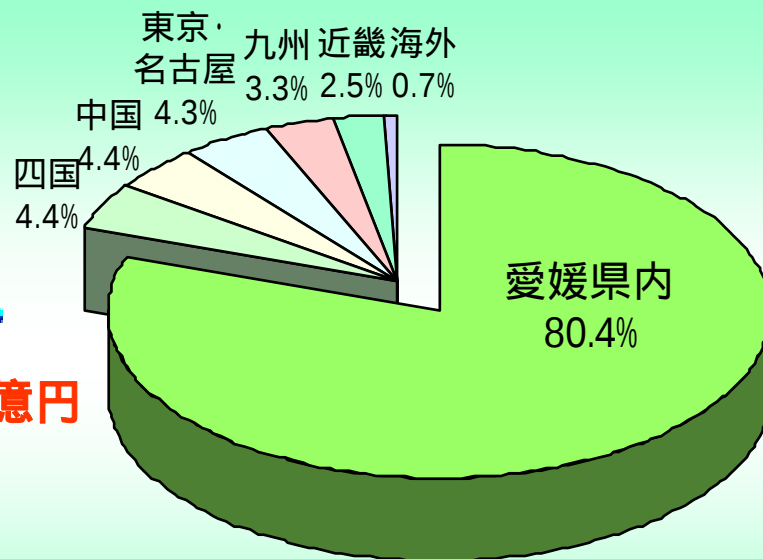
● 県内8割、県外2割で愛媛県を中心に安定した調達構造

< 預金等残高 地域別構成比率 >



16年9月
3兆8,986億円

+ 1,671億円



17年9月
4兆657億円

非金利収益の強化

～ 預り資産の増強 ～

● 「預り資産増加目標700億円」(17年上期比)にチャレンジ

投信・年金保険新商品の追加

- ～ 投信 ～ 合計30ファンド
- 投信6ファンド追加(17年10月)
- ～ 年金保険 ～ 合計9種類
- 「円貨建定額年金保険」の取扱開始(17年11月)

「いよぎん幸せパック」

- 金利上乗せキャンペーンの実施
(17年9月～12月)
- 店頭誘致のための県内全店ローラーの実施

定期預金と投資信託・外貨定期預金を組合わせた商品
(定期預金金利を上乗せ)

預り資産の営業態勢強化

- ～ 予定 ～
- 約50か店の店内レイアウトを1年かけて
変更予定(相談窓口を充実)
- 営業店の販売人員を増強予定
- ～ 継続 ～
- 預り資産店頭強化運動「チャレンジAAA
(アセット・アクティブ・アクション)」の継続実施
- お客さま向け投資セミナーを継続して開催
- ～ 実績 ～
- 「金融商品アドバイザー」を全店に約260名
配置
- 新商品追加毎に行員向け研修の強化実施

新種業務への取組み

～ 高付加価値業務の展開 ～

● 付加価値の高い情報提供による効果的な営業活動

ビジネスマッチング業務

ニーズ対応と
シーズ発掘

- 行内LANを活用した積極的な情報の受発信
- 16年4月～17年10月の登録件数累計1,346件
成約件数累計 154件
- 現在は無料での取組み、有料化を検討中

創業・新事業支援業務

インキュベーション
機能の発揮

- 「いよベンチャーファンド1号投資事業有限責任組合」による投資(17年10月末実績11件 300百万円)
- 17年12月「いよベンチャーファンド2号投資事業有限責任組合」設立(1号と合算で10億円)

M & A業務

事業承継、事業再構築等
のお手伝い

- 本部専門スタッフ2名配置
- 16年度通期で3件成約
- 17年4月～17年10月で2件成約
- 17年10月末までの情報収集件数 売59件、買158件

医療・介護支援業務

新規医院開業支援、
各種相談・情報提供

- 専門スタッフ2名による本部渉外実施
- 医療コンサルティング会社との連携
- 医療・介護制度改革などの情報提供

確定拠出年金

制度導入のサポート、
運用商品の提供

- 本部渉外による導入コンサルティング実施(企業型)
- 17年10月末 実績
企業型:30社、加入者数 約1,600名
個人型:約2,500名

インターネットバンキング

IT時代の便利で
手軽なサービス

- 17年8月 事業者向けインターネットバンキング取扱開始(四国の地方銀行で初)
- 契約件数は17年10月末で552先と順調に増加

信用コストの低位水準維持

～ 債務者区分遷移表 ～

- 「ランクアップ運動」を引き続き全店運動として実施中
- 「企業コンサルティング部」を中心とした積極的な再生支援
～ 再生ファンド、DDS・DESなど各種再生スキームの活用 ～

< 事業性信用先に対する債務者区分の遷移 (1年間) >

上段: 債務者数 下段: 与信額(億円)			17/9月末							破綻懸念以下 への劣化率	好転	劣化
			合計	正常先	その他要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先			
1 6 / 9 月 末	正常先	25,790	22,543	21,918	515	46	15	33	16	0.25%	-	625
		18,587	19,216	18,736	418	23	31	3	4	0.21%	-	480
	その他要注意先	1,919	1,810	426	1,307	45	16	12	4	1.67%	426	77
		2,262	2,117	440	1,570	87	15	3	1	0.87%	440	107
	要管理先	340	308	32	26	195	24	23	8	16.18%	58	55
		844	720	11	73	542	86	6	2	11.18%	84	94
	破綻懸念先	176	145	6	11	10	94	20	4		27	24
		443	321	1	86	41	181	11	0		128	11
	実質破綻先	234	120	2	0	1	3	111	3		6	3
		116	51	1	0	0	1	47	2		2	2
	破綻先	119	58	0	0	0	1	0	57		1	-
		59	37	0	0	0	2	0	34		2	-
	合計	28,578	24,984	22,384	1,859	297	153	199	92		518	784
		22,311	22,461	19,189	2,146	694	317	70	44		656	694

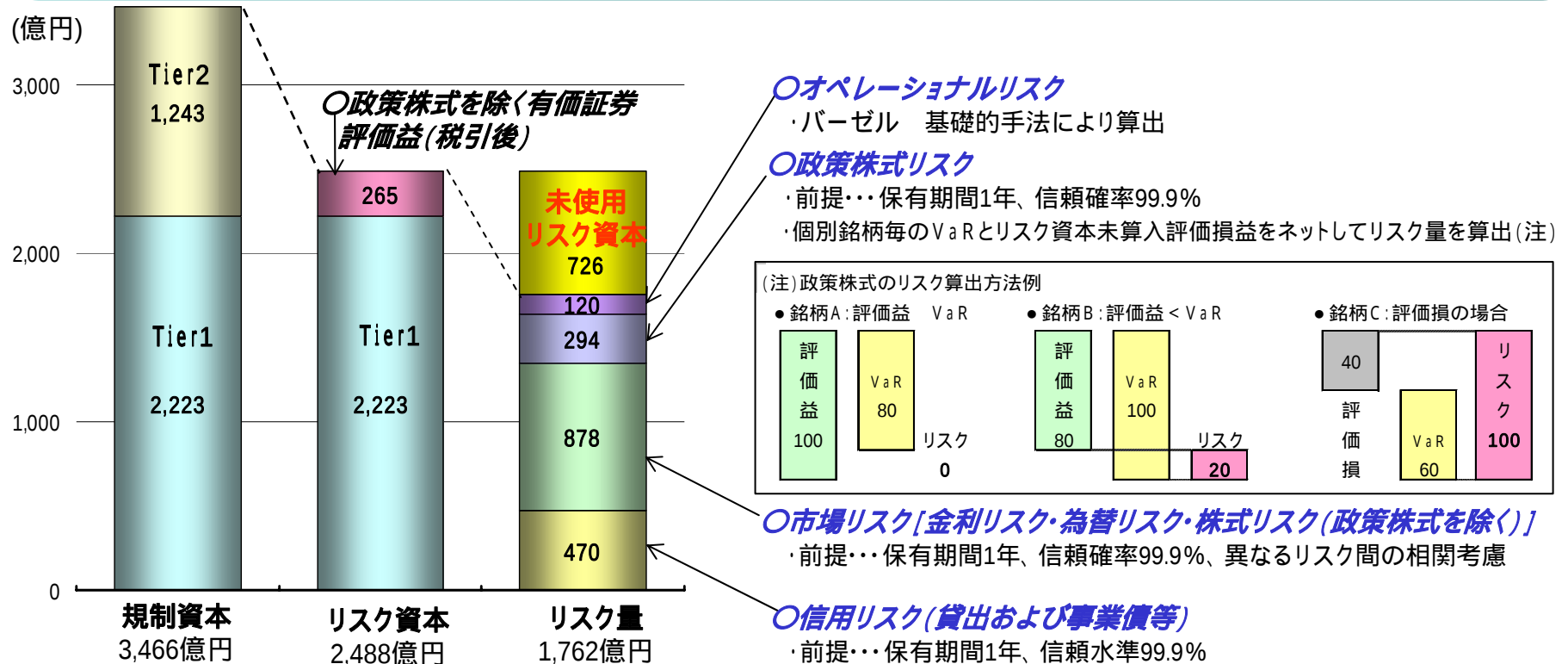
(注1) 期初(16年9月末)において各債務者区分に属していた債務者が、期末(17年9月末)においてどの債務者区分に遷移したかを表示

(注2) 遷移後の残高は、期末(17年9月末)における償却後の残高

リスク管理・収益管理のレベルアップ ～ 統合リスク管理～

● バゼル 対応および次期中計における資本配賦に向けて統合リスク管理態勢を充実

- ・統合リスク管理態勢をさらに整備し、リスク管理方針、部門評価等に活用することによって、効果的なリスクテイクを志向する
- ・このため、資本配賦の原資となるリスク資本およびリスク計量化の定義を一部変更
- ・瀬戸内圏域における貸出増強および有価証券投資多様化等による未使用リスク資本の有効活用によって、さらなる資本効率・収益力向上を図っていく



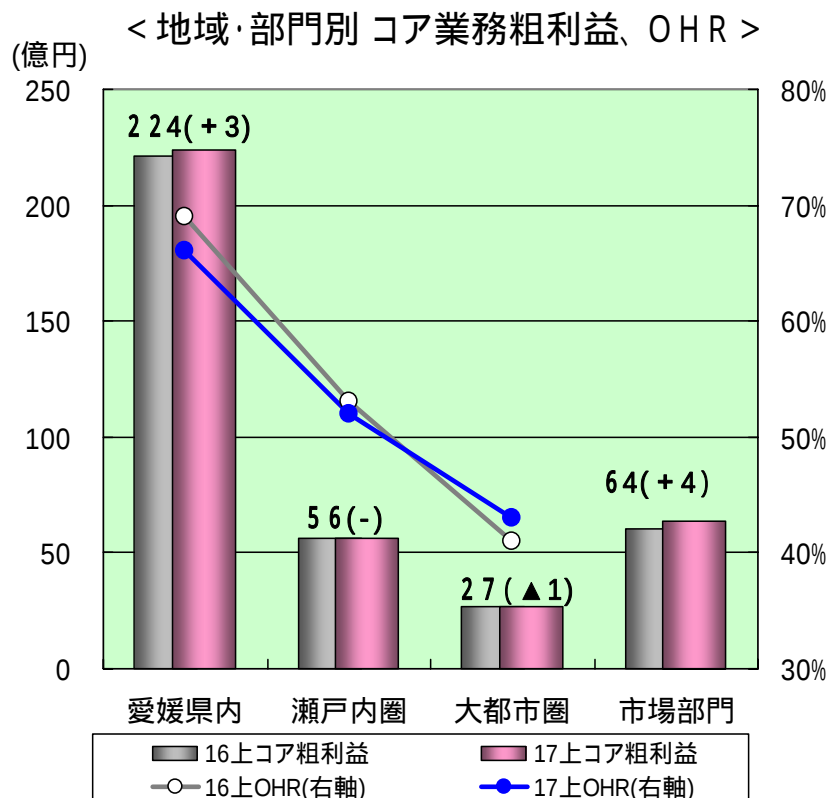
[統合リスク管理における定義等の主な変更点]

- 有価証券の評価益を税引前で全てリスク資本に算入していたが、政策株式の評価益は資本配賦原資であるリスク資本から除外
- 市場リスクの信頼水準を99%から信用リスクと同じ99.9%へ変更、市場リスク(金利リスク・為替リスク・株式リスク)間の相関を保守的に考慮
- 政策株式のリスクは市場リスクから分離し、個別銘柄毎に99.9%の信頼水準のもとで発生する可能性のある最大評価損を算出し、その合計額をリスク量と認識

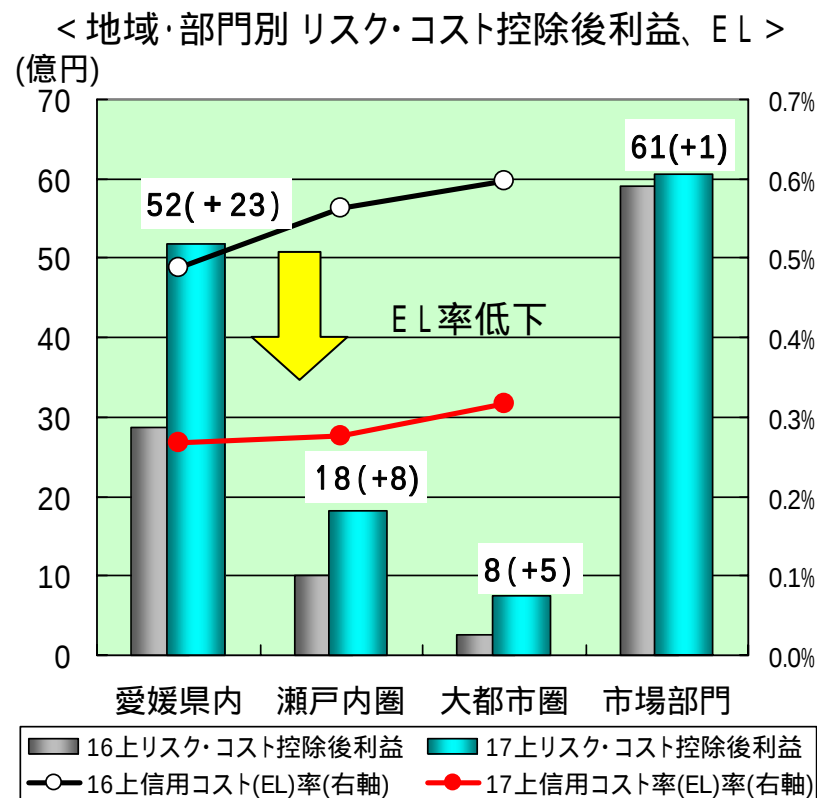
リスク管理・収益管理のレベルアップ ～ 部門別損益 ～

地域別採算・・・信用コスト低下により大幅改善

- コア業務粗利益では、愛媛県内営業部門が個人融資および預り資産収益の増加により増益になるとともに、市場部門が配当増加等により増益
- 信用コスト(EL)は、ここ2年のデフォルト率低下等を格付別PDに反映させたことから、大幅に低下(半期EL・・・16上73億円 17上40億円)
- この結果、「リスク・コスト控除後利益」ベースで各地域ともに大幅に増益



(注)経営管理部門コア粗利益(ALM損益等15億円)は除く



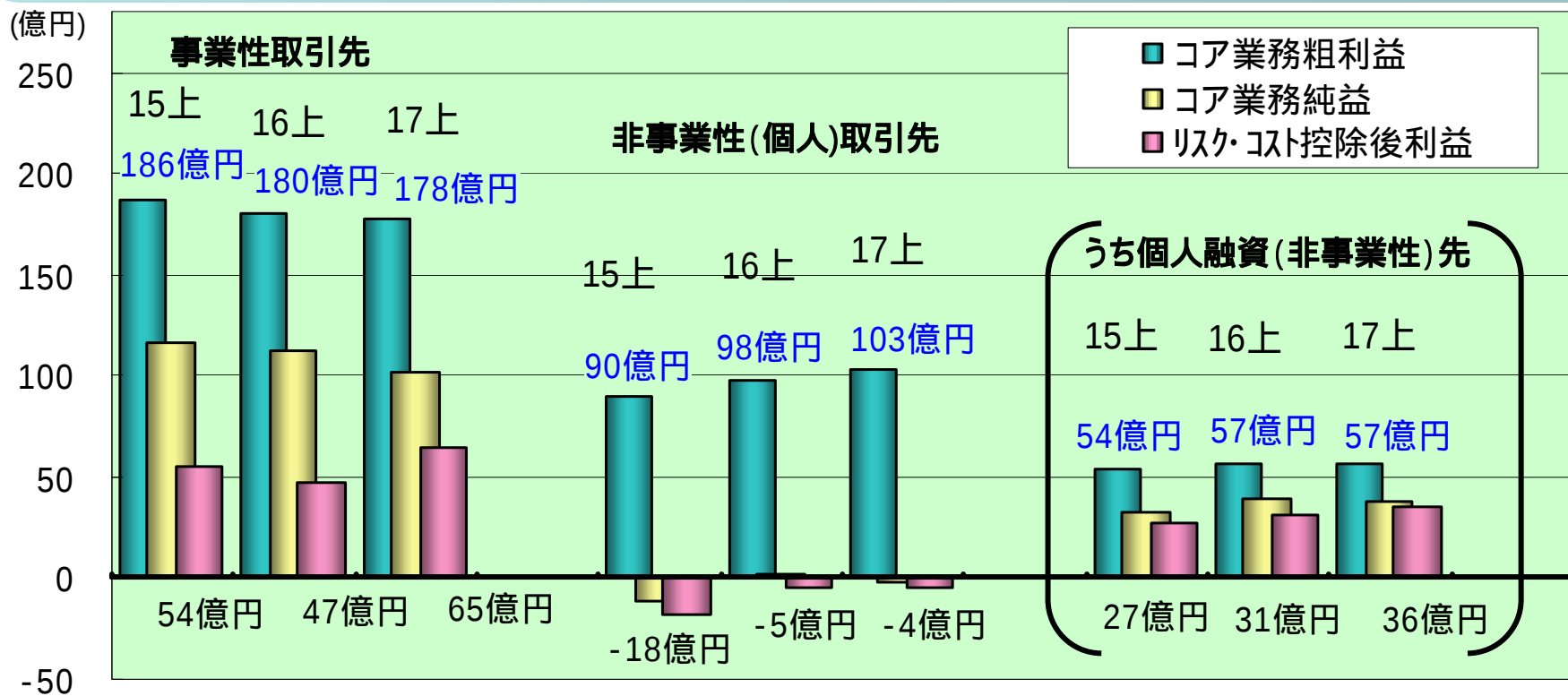
リスク管理・収益管理のレベルアップ ～ 営業店部門セグメント別採算～

● 事業性取引・・・採算性向上

- 業務粗利益は貸出利鞘縮小により依然減少傾向にあるが、ボリュームの増加により減少幅縮小、また、リスク・コスト控除後利益は、デフォルト率の低下等による信用コスト(EL)減少により増加
・・・新規融資事業所開拓「6,000先」を目指す

● 個人取引・・・赤字幅縮小

- 個人融資および預り資産関連手数料増強による粗利益改善により、リスク・コスト控除後利益の赤字幅は縮小傾向



CSRへの取り組み

● ステークホルダーを重視した本業をはじめとする社会貢献活動の実施

17年11月「CSR推進委員会」を設置

環境対応

- 頒布品のリサイクル対応を促進
- ハイブリッドカー等の低公害車の導入拡大
- 再生紙の利用率アップ
- 紙ゴミの分別徹底 等

地域貢献活動

- 「地域文化活動助成制度」による支援
- 「伊予銀行社会福祉基金」による支援
- 男子テニス部・女子ソフトボール部の活動
- 各種地域行事への参加 等

商品提供

- 低公害車購入のための「エコ・カーローン」
- 少子化問題に対応する「子宝ローン」
- ISO取得のための「環境クリーン資金」
- 環境配慮の活動のための「環境私募債」等

産学官連携

- (財)えひめ産業振興財団との連携
- 異業種交流会フロンティア企業クラブへの参加
- 愛媛大学地域共同研究センター研究協力会への参加
- 四国TLOクラブへの参加 等